

龍馬と学ぼう

日商簿記2級

日商簿記2級フリーテキスト講座

<工業簿記1> 工業簿記の基礎

全6枚



弥生カレッジCMCのフリーテキスト講座（無料動画で公開中）

<工業簿記は数学が必要か？>

はい！といっても算数レベルです。

この2つの考えが理解できれば大丈夫です。

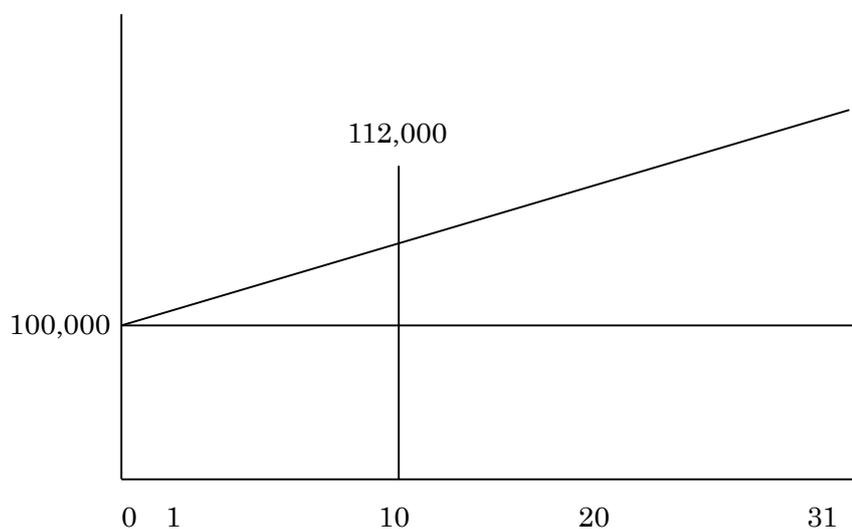
$$2X = 4 \rightarrow X = 2$$

これは大丈夫！だったらCVP分析は大丈夫です。

$$y = ax + b$$

えっ??これはダメです

そんな事はありません。今から説明します。



家賃 100,000 円（固定費）、外食費@1,000 円の予算をあらわすグラフです
今月は 10 日外食しました、家賃とあわせた予算はいくらでしょうか？

予算 $y = 1,000 \times 10$ （日） + 100,000 = 110,000 ですね

この時に領収書を全部計算すると、112,000 円ありました

思ったより 2,000 円使いました。これで標準原価計算の差異分析は大丈夫です。

実はこのグラフと、この考え方が難解と言われているのです。そんな事はないぜよ！！ですね。

では、Let's 工業簿記！！ぜよ

まずはお持ちの各テキストの「工業簿記の基礎」を読んでもください。
覚える必要はありません「ふーん」という感じで充分です。

どのテキストでも下記の内容が記されています。

①商業簿記との違い

「商品を仕入れて売る」と「材料を加工して製品を作り売る」

②原価とは？

製造原価＋販売費＋一般管理費＝総原価

営業外費用＋特別損失＝非原価

③原価の分類方法

工場でかかった「ありとあらゆる経費」を分類する

イ.材料費・労務費・経費

ロ.直接費・間接費

④会計期間と原価計算期間

原価計算は意思決定に強くかかわります

1年で計算ではライバルに勝てません

また、勘定連絡図というものも掲載されています

スッキリ3版：P 1 2

サクッと4版：P 1 3

教科書：P 1 3

コピーして部屋にはっておきましょう

では、じっくり見ていきましょう

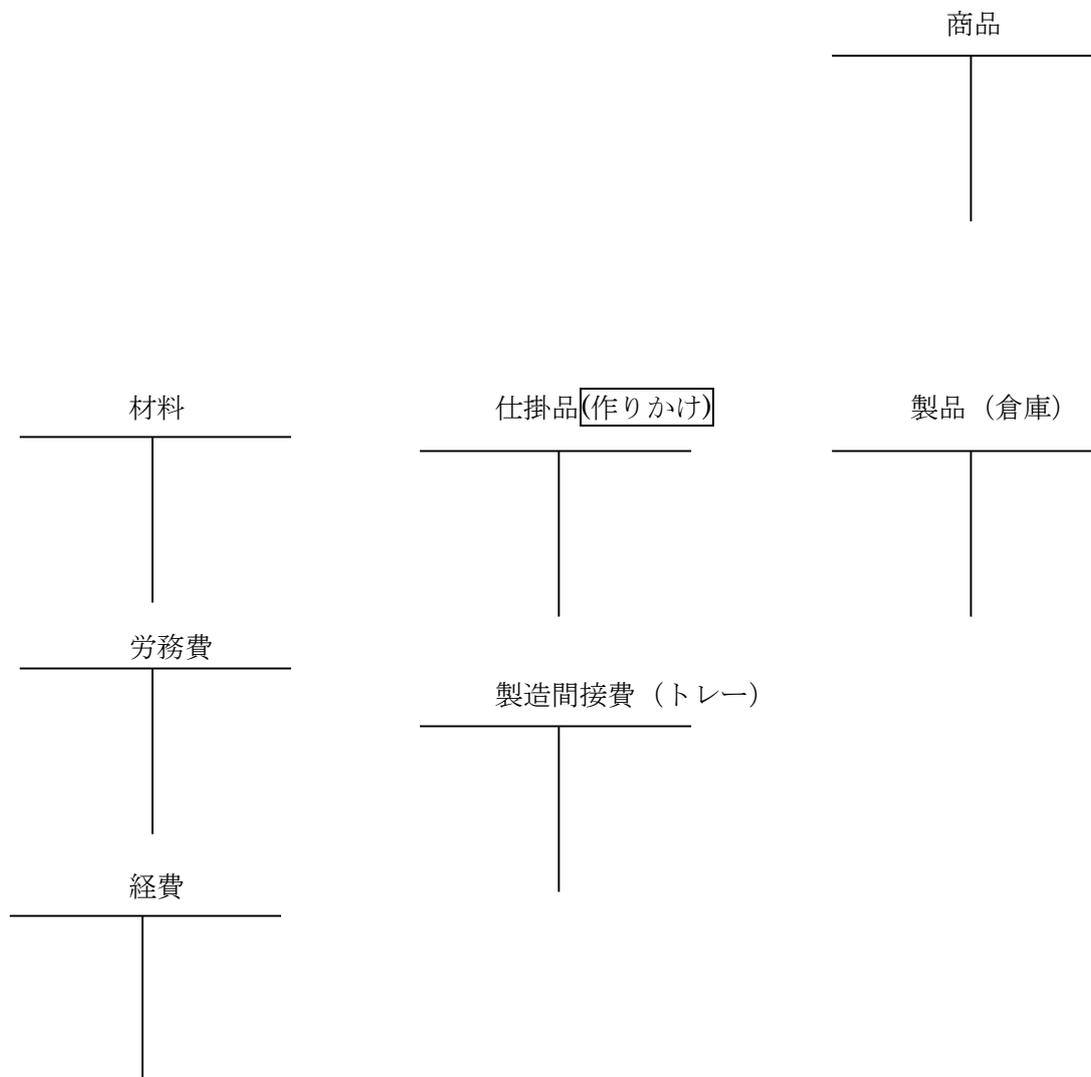
<商業簿記との違い>

商業簿記は商品勘定でP/Lを作る (100円で仕入れて200円で売る)

工業簿記は製品勘定でP/Lを作る

さらに、仕掛品勘定でC/Rを作る (20円で仕入れた材料に工場で加工を加えて200円で売る)
(原価を自分で計算しないとイケない)

どういう意味?



もう少し詳しく見てみましょう。

この流れの事を**勘定連絡図(元帳)**と言います。

左から右へ、材料が製品になっている流れでイメージして下さい

原価計算ですから、書類が左から右に流れていきます。

まず第一段階は工場でかかった「ありとあらゆる経費を」ヒト・モノ・それ以外に分けます。

そして、それが「ある製品」に直接紐づいているかどうかで、仕掛品・製造間接費(共通)のBOXに振りわけます。

そして、完成した製品は製品倉庫に入ります。売れば売上原価。これは商業簿記と同じ仕組みです。

では、先のページに、下記の仕訳を記していきましょう

材料を 1,000 円で仕入れた
材料 1,000 / 買掛金 1,000

A 製品のために 400 円分使用した
仕掛品 400 / 材料 400

B 製品のために 200 円使用した
仕掛品 200 / 材料 200

A・B 共通で 100 円使用した
間接費 100 / 材料 100

直接工に 1,000 円の給料を払った
労務費 1,000 / 現金 1,000



上記の内訳は次の通り：A 製品の作業 600 円分 B 製品の作業 400 円分
仕掛品 600 / 労務費 600
仕掛品 400 / 労務費 400

事務員に 500 円の給料を払った
労務費 500 / 現金 500
間接費 500 / 労務費 500

A 製品の特殊加工の為に外注費を 1,000 円支払った
外注費 1,000 / 現金 1,000
仕掛品 1,000 / 外注費 1,000

間接費の合計を、半分ずつ A と B に振り分けた
仕掛品 300 / 間接費 300
仕掛品 300 / 間接費 300

製品 A が完成した
製品 2,300 / 仕掛品 2,300

	製品 A	製品 B	合計
直接材料費	400	200	600
直接労務費	600	400	1,000
直接経費	1,000		
製造間接費	300	300	600
合計	2,300	900	3,200
備考	完成	製造中	

ちょっと一息

●人生の転機

私の人生の最も大きな転機は、たぶん小学校4年の3学期。
神戸市に生まれ育ち、勉強はできるが、運動神経最悪（だから交通事故に何度も遭遇する）。典型的ないじめの対象。

「昔のいじめはカラッとしていた。」という人がいるが「冗談ではない」といいたい。

先生からも含めて、「笑いものにされている」感でいっぱいだった。
運動会では決まってお腹が痛くなる。

こんな私にめぐってきたチャンス。父親の独立による大阪への転校。
転校初日、子供心に「今回は絶対にいじめられたくない!」と決意。

神戸出身の方はご存じだと思いますが、大阪弁とは微妙にイントネーションが違う。私の「何しよう」に、隣に座った子から「何やそれ!」の嘲笑。勇気を振り絞って、「何がおかしいねん!」と強く言うと、その子が「こわー」といって退いた。そして放課後、その子が家に遊びに来た。

子供にとっては、こんな事で自信が付くものです。でも相変わらず運動神経はダメだった。小学校6年で50mを10秒という男女合わせて、ほぼ最下位だった。でも、足が遅い理由は体重が後ろにかかっていただけと判明。少し前のめりにすると、一気に8秒台。子供心に「やれば出来る。運動は楽しい」と思いました。その後は中学では柔道、高校では甲子園めざして野球にあけくれました。人間は気持ちで変わるものです。



講師横山の著書

「弥生検定攻略テキスト」

コラムより抜粋